

I 基本方針

老人クラブは、超高齢社会を明るく、豊かで活力あるものにすることを目指して、高齢者自らが取り組む「健康」「友愛」「奉仕」の三大運動の一層の推進を図るため、「健康づくり・介護予防活動」、「友愛活動」、「子どもの見守り」、「消費者被害防止」の活動などを行い、地域の安全と安心に貢献しています。

しかし、平成9年度をピークに会員の減少が続き、平成26年度から5年間にわたり取り組んだ「全国100万人会員増強運動」でも減少傾向に歯止めがかからず、令和4年度にはピーク時の半数に満たない状況となり、役員のなり手不足や活動の中核となる若手会員の不足が深刻化しています。

さらに、令和2年当初から世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症は、老人クラブ活動の自粛などにより高齢者の健康増進に大きく影を落としました。しかし、約4年を経過し、国は、令和5年5月には平時の生活に戻す方向へと舵を切り、ウイズコロナの取組をさらに進めることとしています。

このような状況を踏まえ、私達老人クラブは「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、ウイズコロナを見据えながら、魅力ある老人クラブ活動づくり、会員増強に引き続き取り組みます。また、行政や社協を始め関係団体と連携し、フレイル予防・介護予防・健康長寿の延伸と地域における支え合い活動を広げ、地域の安全・安心づくりに取り組みながら、誰もが役割を持ち、支え合いながら暮らし、生きがいを築いていく「地域共生社会」の実現を目指します。

<公益事業の4つの柱>

- 1 健康づくり・介護予防活動の推進（公1）
- 2 地域支え合い活動の推進（公2）
- 3 活動活性化に向けた取組（公3）
- 4 地震等災害被災者支援及び復興活動の推進（公4）

<参考：令和5年度全老連重点事項>

- 1 老人福祉法制定60周年の取組
- 2 ウイズコロナを見据えた老人クラブ活動の推進
 - (1) 「新しい生活様式」に基づくクラブ活動の普及
 - (2) 自宅でできる身体と心の健康づくりの呼びかけ
- 3 会員増強への取り組み
- 4 高齢者の健康づくり・生活支援活動の推進